

地域支え合い事業

健康推進部 高齢介護課

【地域支え合い事業】概要①

●目的

元気な高齢者等のボランティアが、援助の必要な高齢者等の生活支援を行い、その謝礼を地域商品券として受け取ることにより、**高齢者等の日常生活の安心確保**や**元気な高齢者等の介護予防**、**地域経済の活性化**に寄与すること。

●内容（家事援助サービス）

※県内63市町村が同様のしくみで実施

<①,②>

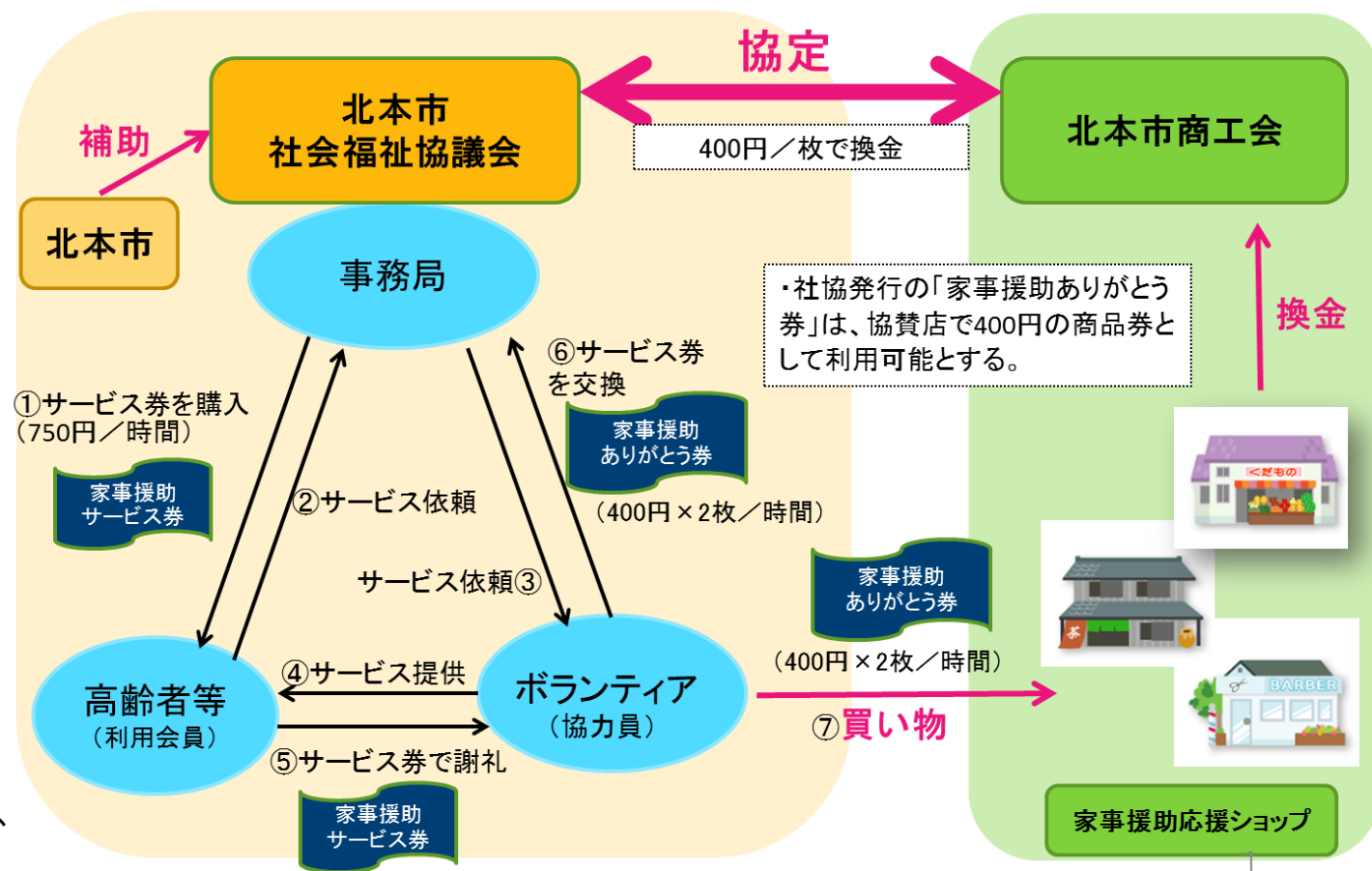
日常生活で困っている高齢者等が、サービス券（750円/1時間）を購入し、掃除や洗濯、調理等のサービス提供を依頼する。

<③,④,⑤>

北本市社会福祉協議会が協力員の調整を行い、協力員は利用者へサービスを提供し、謝礼としてサービス券を受け取る。

<⑥,⑦>

協力員は、サービス券を“家事援助ありがとう券”（400円×2枚/1時間）と引換え、協賛店での買い物で使用する。



【地域支え合い事業】 概要②

●実施方法

北本市社会福祉協議会が、北本市商工会及び市との協定により、平成22年度から実施。

●それぞれの役割

<北本市社会福祉協議会>

家事援助サービスの実施及び商品券（家事援助ありがとう券）の発行。

<北本市商工会>

協賛店の募集・管理及び商品券（家事援助ありがとう券）の換金事務。

<市>

事業の調整及び拡大に関わる支援

→1時間あたり100円の協力費を補助金として支出。

●実施状況（過去5年間の推移）

	H25	H26	H27	H28	H29
市補助金	212,200円	183,750円	152,300円	126,650円	101,600円
利用時間	2,122時間	1,838時間	1,523時間	1,267時間	1,016時間
延べ利用者	1,842人	1,519人	1,212人	1,011人	840人
実利用者	40人	38人	35人	36人	30人
協力員登録者	85人	85人	52人	40人	44人
協力員実活動者	21人	23人	21人	17人	13人
加盟店	75店舗	75店舗	69店舗	69店舗	69店舗
券使用店舗	18店舗	14店舗	13店舗	10店舗	8店舗

【地域支え合い事業】概要③

●事業実施の効果

①高齢者等の日常生活の安全確保
➔ちょっとした困りごとなど公的サービスで対応できない住民ニーズへの対応も可能。

②元気な高齢者の介護予防
➔協力員としての活動による介護予防効果。

③地域経済の活性化
➔地域商品券を利用した地元商店での買い物促進。

同様の実施効果が得られる

●介護保険制度の見直しに伴う類似サービスの創出

・介護予防・生活支援サービス事業の開始に伴う“訪問型サービス”の実施（H28.4～）
➔掃除や洗濯、買い物同行等の日常生活における支援について、これまでの要介護認定における“要支援”該当者に加えて、基本チェックリストにより生活機能の低下がみられる人も対象となった。（100円未満/30分未満、370～380円程度/回 ※自己負担額）

・“ちょこっと困りごとサービス”の創出（H29.11～）
➔地域支え合いの輪を広げるため、地域住民が協力員（ボランティア）として登録し、高齢者等のニーズに応じ、ゴミ出しや電球交換等の軽易な困りごとに対する支援を行う。（300円/30分）

【地域支え合い事業】概要④

●近隣市町村の状況（H29年度実績）

	北本市	桶川市	鴻巣市	伊奈町	吉見町
補助金支出の有無	○	○	×	×	○
補助金額	101,600円	212,475円	—	—	240,000円
補助方法	1時間あたり 100円の補助	1時間あたり 150円の補助	—	—	1時間あたり 100円の補助

●現状と課題

<現状>

県内63市町村において同様の支え合いのしくみが構築され、うち22市町村において補助金支出等による事業支援が行われている。（H29年度現在）

<課題>

- ・利用者が減少傾向にあり、事業規模が縮小している。
- ・類似サービスの創出により、同様の事業効果が得られている。
- ・利用者や商品券使用店舗が少ないことから、十分な地域活性効果が得られていない。